

日本の風力関係者が国際電気標準会議と世界風力エネルギー協会から受賞

日本風力エネルギー学会 理事・国際・広報委員長 上田 悦紀

今年 10 月 6 日と 11 月 1 日に日本の風力関係者が国際電気標準会議 (IEC) と世界風力エネルギー協会 (WWEA) から受賞しました。この 2 団体からの日本人の受賞は初めてです。

1. 国際電気標準会議から受賞

風力エネルギー研究所鈴木章弘氏、三菱重工業(日本電機工業会元風力担当課長)石山卓弘氏は 10 月 6 日に IEC1906 賞を受賞しました。

授賞理由としては、ここ数年台風・落雷・乱流(複雑地形)への対応や、洋上風力発電、タワーと基礎の国際標準等の複数の分野で IEC の風力発電部門 (IEC TC88) に対して積極的に提案を行ったこと、また TC88 や IEC RE (再生可能エネルギーの認証制度) に関連した多数の会議を日本で開催すると共に、IEC RE の新規立上げに大きく尽力したことを評価されたものです。



写真1 表彰式の様子と表彰状(鈴木章弘氏)



写真2 表彰式の様子と表彰状(石山卓弘氏)

IEC1906 賞は国際電気標準会議の活動に対して、多大な貢献をした個人に対する国際表彰です。2004 年以降は毎年、全世界で 150 名を表彰し、日本人は 20 名程度が受賞しています。表彰は IEC からですが、国内では経済産業省を通じた表彰となっています。風力発電部門では日本は今回が初受賞です。

写真1と写真2は表彰式の様子と表彰状です。石山氏は IEC 日本窓口の JEMA の風力担当課長として京

都と東京で複数の IEC 会議を成功させました。鈴木氏は今年 4 月に IEC RE の風力部門の副議長 (WE-OMC Vice-Chairman) に就任しています。

IEC1906 賞は個人を対象にした表彰ですが、両名の受賞の背景には、IEC/TC88 委員会に参加してきた先達者の活動および近年 TC88/MT1 (大型風車の設計要件)、PT3 (洋上風力)、PT6 (タワーと基礎)、PT24 (落雷対策) 等の IEC 委員会での日本の風力発電の技術基準を IEC の国際規格に提案してきた国内分科会および専門委員各位の努力が大きく貢献していることに関係しています。

2. 世界風力エネルギー協会から受賞

足利工業大学 牛山泉理事長(日本風力エネルギー学会前会長)は 11 月 1 日に世界風力エネルギー協会 (WWEA) から「World Wind Energy Honorary Award 2016」を受賞しました。

授賞理由としては、日本と世界における風力エネルギーの開発における先駆者であり、卓越した科学者としての役割を果されたことを評価されたものです。

写真 3 は東京大学で開催された「第 15 回 世界風力エネルギー会議 2016 東京(WWEC2016)」の閉会式での表彰式の様子、サプライズイベントとして表彰が行われました。

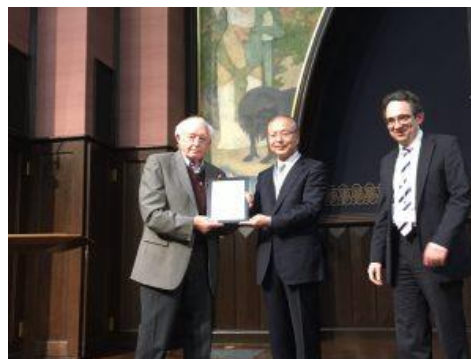


写真3 東京大学安田講堂での表彰式(牛山泉氏)

3. 関連記事

- 1) 平成 28 年度工業標準化事業表彰の受賞者を発表します
10 月 5 日 経済産業省
<http://www.meti.go.jp/press/2016/10/20161005001/20161005001.html>
- 2) 牛山理事長が日本人初となる「World Wind Energy Honorary Award 2016」を受賞しました Ashitech
<http://www.ashitech.ac.jp/news/2016-ait/20161102-wwecHonorary.html>
- 3) World Wind Energy Award 2016 for 195 countries who endorsed the Paris Agreement, 11 月 9 日 WWEA
<http://www.wwindea.org/world-wind-energy-award-2016-for-195-countries-who-endorsed-the-paris-agreement/>